

ヘルパーステーション

『新しいサービス提供責任者が入りました』

1月に新しい職員が入り、新たに3人体制で新年度を迎えます。まだ、不慣れな事もありますが、力を合わせ、ご利用者の皆様により良いサービスを提供していきたいと思っています。よろしくお願いします。

阿部職員

1月入職。3カ月たちましたが慣れないことばかりです。精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。



ケアタウン成増 春の作品展



《開催期間》

平成29年4月13日(木)～23(日)の11日間

★午前9時～午後6時まで

春の作品展は、今年で4年目となります。

多くの皆様のご来場をお待ちしています。

是非、お気軽にお立ち寄りください。

居宅支援事業所・地域包括支援センター

「ケアプラン点検について」

ケアタウン成増、東電さわやかケア成増、ジャパンケア赤塚、スローステップ居宅介護事業者の介護支援専門員、成増おとしより相談センターの職員が集まり、年6回第三水曜日の9時～12時までケアプラン点検の勉強会を開催しています。

毎回交代で1事例(リ・アセスメント支援シート)を活用し、ケアプランがケアマネジメントのプロセスを踏まえ、「自立支援」に資するケアプランとなっているかを検証、確認しながら勉強し「気づき」を促し、介護支援専門員が「自立支援に資するケアマネジメント」を勉強しています。



その他

ケアタウン成増に対するご意見、ご要望、苦情などありましたらお気軽に声をかけてください。

ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

次号は7月上旬発行予定です。お楽しみにして下さい。

<http://misono-fukushikai.or.jp/>



たんぽぽ通信

平成29年4月発行 第38号

社会福祉法人みその福祉会・ケアタウン成増



とりかいさん家
のいちご園
(和光市)

地域共生社会の実現

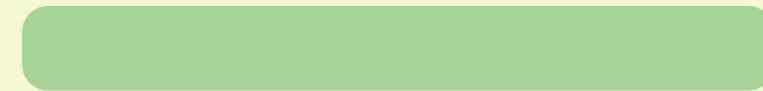
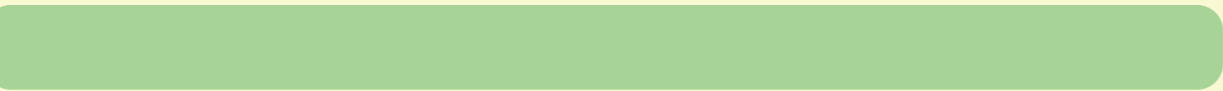
社会福祉法人みその福祉会 理事長 坂本 寛

「一億総活躍社会づくり」が進められる中において、福祉分野では従来からの「支え手側」と「受け手側」と分かれるのではなく、地域においてすべての住民が役割を持ち、支え合いながら自分らしく活躍できるコミュニティを育成することが不可欠です。そのためには公的な福祉サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる「地域共生社会」の実現が必要とされ、実現のための私たち社会福祉法人の役割はとても大きいと考えています。

社会福祉法改定により社会福祉法人の「地域における公益的な取組」が責務となり、平成28年度より区内社会福祉法人の児童、障がい、高齢関係施設等により「板橋区社会福祉法人施設等連絡会」を設立し、今後の地域における公益的取組みについて協議することとなりました。分野を超えた共通の問題について話し合い、「地域共生社会」の実現のために区内の複数法人・施設が力を合わせるにより、効率的により大きな成果を得ることが出来るのではと考えています。

板橋区においても「助け合い・支え合いの地域づくり」活動が始まりました。当法人では特に地域包括支援センター(おとしより相談センター)による従来からの地域との関係性を最大限に生かし、「地域共生社会」の実現のための役割を積極的に果たしていきたいと考えております。

ご関係の皆様にはこれからもご支援・ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



去年に引き続き、味噌作りを行いました。7名の女性の利用者の皆様に手伝って頂きました。茹でた大豆をつぶしこねる工程はとても大変でしたが、とても手際が良く「昔は良く自分の家で作ったよ。」とお話されていました。出来上がりを楽しみにされています。



ボランティアのホロホロ15の皆様が来てくださいました。ウクレレの伴奏でたくさんの懐かしい歌を歌ってくださいました。歌集を見ながら利用者の方も一緒に歌えるのも楽しみです。演奏の合間の面白い昔話の読み聞かせもまた一興となっています。開花宣言もあり、うらかな春のひとつでした。



特養・ディサービス合同でイチゴ狩りに出かけました。皆様、昼食後なので食べれるのかしらと心配されていましたがたくさん摘んで召し上がっていました。一年分食べたとおっしゃる男性の利用者もいらっやいました。真っ赤な可愛い苺、白い花も咲き匂いの味を満喫しました。近場の和光市に気軽にレジャーに行ける場所があるのは幸せなことです。ここ数年の春の風物詩となっています。